

# KENWOOD

デュアルサイズMD/CD MP3/DSPレシーバー

## DPX-6051MP

### 取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。  
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、  
説明の通り正しくお使いください。  
また、この取扱説明書は大切に保管してください。  
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド  
KENWOOD CORPORATION

● 使いこなし!  
ファンクショナルオペレーション

## Functional Operation

● ここさえ読めばひとまずOK!  
イージーオペレーション

## EZ Operation

COMPACT  
disc  
DIGITAL AUDIO



MDLP

© B64-2095-00 (JW)

Help ? Operation  
? MP3  
? Word

Functional Operation

Source Selection/Clock Control

MD/CD Mode/MP3 Mode

Tuner Mode

Name Set Mode

Display Control

DSP Control/Equalizer Control

Audio Control

Function Set Mode

Options

EZ Operation

Help

# Contents

ここを読まなければ操作できない！  
この取扱説明書を読むルールが書いてあります。

## 本書の読みかた

本書の読みかた .....	4
安全上のご注意 .....	6
使用上のご注意 .....	8
CDとMDの取り扱い .....	10

ここさえ読めばひとまずOK!  
イージーオペレーション

## EZ Operation

MD、CD、FM/AM放送、交通情報の聴き方 .....	12
------------------------------	----

思ったとおりに動作しなかったとき  
わからない用語が出てきたら...  
困ったときのお助けページ！

## Help ? Operation

? MP3  
? Word

Help? Operation .....	46
Help? MP3 .....	53
Help? Word .....	56

付録

## Appendices

保証とアフターサービス .....	60
仕様一覧 .....	61

使いこなし! ファンクショナルオペレーション

## Functional Operation

Source Selection .....	14
ソース選択	
Clock Control .....	15
時計表示切り替え 時刻合わせ	
MD/CD Mode .....	16
トラックサーチ マニュアルサーチ トラックリピートプレイ ランダムプレイ トラックスキップ タイトル/テキストスクロール	
MP3 Mode .....	18
MP3ファイルプレイ ファイルサーチ フォルダサーチ マニュアルサーチ ファイル/フォルダリピートプレイ ランダムプレイ ネームスクロール フォルダセレクト	
Tuner Mode .....	22
バンド切り替え チューニング マニュアルメモリー オートメモリー プリセットチューニング	
Name Set Mode .....	24
DNPS (ディスクネームプリセット) / SNPS (ステーションネームプリセット)	
Display Control .....	26
ディスプレイ情報表示切り替え ALL OFFモード中表示切り替え アナライザーの切り替え 操作パネル角度調節 デモンストレーション切り替え	
DSP Control .....	28
DSPシステム DSPの設定 ユーザー設定のメモリー ユーザー設定の呼び出し	

Equalizer Control .....	32
イコライザーカーブの選択	
イコライザーカーブの調節	
ユーザー設定のメモリー	
ユーザー設定の呼び出し	
Audio Control .....	36
オーディオコントロール	
クロスオーバー設定のメモリー	
クロスオーバー設定の呼び出し	
交通情報音量設定	
Function Set Mode .....	40
ファンクションセット	
セキュリティコード	

オプションも使いこなそう！ オプションズ

## Options

External Disc Control .....	44
ディスクサーチ	
トラックサーチ	
マニュアルサーチ	
トラック/ディスクリピートプレイ	
トラックランダムプレイ	
マガジンランダムプレイ	
トラックスキッププレイ	
タイトル/テキストスクロール	

Source Selection/Clock Control

MD/CD Mode/ MP3 Mode

Tuner Mode

Name Set Mode

Display Control

DSP Control/Equalizer Control

Audio Control

Function Set Mode

Options

Help

# 本書の読みかた

この取扱説明書では、本機の使いかたや別売品を大きく次の4つのブロックに分けて説明しています。

ここさえ読めばひとまずOK! イージーオペレーション

## EZ Operation

すぐに使いたいかたのために、必要最小限の機能をできるだけ簡単に説明しています。ここだけ読めば、とりあえずお使いいただけます。

使いこなす! ファンクショナルオペレーション

## Functional Operation

EZ Operationを習得したらここへ。すべての機能をステップバイステップで説明しています。ここを読めば、十分に使いこなすことができます。

オプションも使いこなそう! オプションズ

## Options

本機に接続できる別売品のすべての機能の使いかたを説明しています。別売品を接続しているときにお読みください。

## Help

? Operation

思ったとおりに動作しなかったときの原因と対策を説明しています。

? MP3

本機でプレイできるMP3ファイルのメディアやそのフォーマットの説明をしています。

? Word

取扱説明書やディスプレイに表示される用語を解説しています。

● 取扱説明書に記載されているディスプレイ部やパネルの表記は操作説明を円滑に行うための表示例です。このため、実際の機器とは異なることや、実際にはありえない表示パターンが記載されていることがあります。

## 本文でのマークについて



**共通の操作**  
ソースにかかわらず共通の操作を表しています。



**ディスクの操作**  
MDまたはCDをプレイする操作を表しています。なお、この取扱説明書では、MDとCDをまとめて『ディスク』と呼んでいます。



**チューナーの操作**  
FM/AM放送を受信する操作を表しています。



**注意**  
ケガなどを防ぐための大切な注意事項を表しています。



**メモ**  
本機の損傷を防ぐための注意事項を表しています。また、機能・使用方法の制限や使いかたのアドバイスも表しています。

### 1秒以上押す

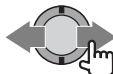
1秒以上（メモリーに書き込むときは2秒以上）押す操作を表します。



動作が始まるまで、または画面の表示が変わるまでボタンを押し続けることを表しています。通常、1秒間押します。また、メモリーに書き込むときには2秒間押します。押す秒数は矢印の中の表示を目安にできます。

### ジョイスティックを動かす

ジョイスティックを矢印の方向へ動かす操作を表します。



左の例では、ジョイスティックを左右に動かす操作を表しています。

### 短かく押す

ボタンをチョンと押すことを表します。



この辺ボタンABC...  
操作するボタンがどこにあるのか...、位置を表すためのマークです。

A

B

DNPS (ディスクネームプリセット) /  
SNPS (ステーションネームプリセット)  
CDとFM/AM放送局に名前を付けます。

1 名前を付けるCD/放送局を選びます

2 ネームセットモードにします

A



Name Set

“Name Set” と表示されるまで押し  
ディスプレイ表示  
このディスプレイが表示  
されるまでボタンを押す  
ことを表します。

3 文字を入力する位置にカーソルを移

B

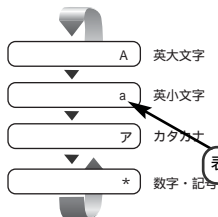


4 文字の種類を選びます

A



押すたびに次の順で切り替わります。



ディスプレイ表示  
スクロール  
ボタンを押すたびに切り  
替わるモードや表示を表  
します。

表示される文字または内容

上記マーク表記例は実際の操作とは異なります。

Source Selection/Clock Control

MD/CD Mode/MP3 Mode

Tuner Mode

Name Set Mode

Display Control

DSP Control/Equalizer Control

Audio Control

Function Set Mode

Options

Help

# 安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」  
をご使用前によくお読みください。

絵表示について：

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



## 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



## 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止

○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



実施

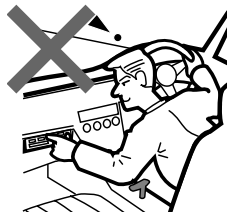
●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守りください。



## 警告



実施

運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。

カーオーディオの操作（音量調節、ディスクの挿入・取り出し など）



実施

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。



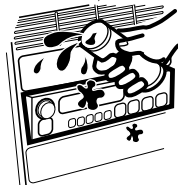
実施

通話中は車の運転に集中できず前方が不注意となります。

通話は安全な場所に停車してから行ってください。

以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 異物が入った
- 水がかかった
- 煙が出る
- 変な匂いがする



### 禁止

修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。



### 禁止

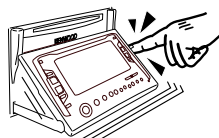
製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。

## ⚠️ 注意



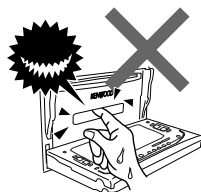
### 禁止

操作パネル部の開閉中には、手や指を近づけないでください。挟まれてケガをすることがあります。



### 禁止

ディスク挿入口に手や指を入れないでください。ケガをすることがあります。



### 禁止

本製品内に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。



### 禁止

製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。



### 禁止

本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。ガラス部品を使用しているため、割れてケガをすることがあります。

# 使用上のご注意

**本機に接続する  
ディスクチェンジャーについて**  
KDC-C510, KDC-C410, KDC-C406, KDC-C310, KDC-C306, KDC-C210, KDC-C206, KMD-C30, またはRJ-480が接続可能です。これらのディスクチェンジャーの“O-Nスイッチ”は“N”側に設定してください。

別売品のCD/MDチェンジャースイッチングユニット“KCA-S210A”を使用するとディスクチェンジャーを2台まで接続することができます。接続などの詳しい説明はKCA-S210Aに付属の取扱説明書をご覧ください。

本機のDNPS機能はCDチェンジャーに内蔵の記憶機能を使用するのではなく本機内部の記憶機能を使用します。このため、CDチェンジャーに記載されているDNPS可能枚数とは関係なく、すべてのCDの合計で50枚まで記憶することができます。

上記以外のケンウッド製ディスクチェンジャー、および他社製のディスクチェンジャーは、本機に接続することはできません。接続すると破損や故障の原因となります。

接続している機種により、使用できる機能や表示できる情報が異なる場合があります。

## オートアンテナ仕様車に取り付けた場合

車両のラジオアンテナが自動で伸びるオートアンテナ仕様車に取り付けた場合、本機のチューナーモードまたは交通情報機能をオンにすると、車両のアンテナが自動的に伸びます。

天井の低い車庫に入る場合は、本機の電源をオフにするか、チューナーモード以外のソースに切り替えてください。

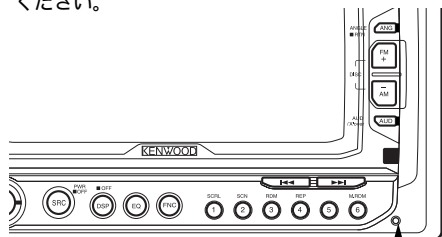
## セットのお手入れについて

本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーをいったん布に付けてから汚れを落とし、その後洗剤を拭き取ってください。

スプレー式のクリーナーなどを直接本機に吹きかけると、本機の機構部品に支障を与えたり、固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

## セットの異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず「Help? Operation」(46ページ)を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、本機のリセットボタンをペン先などで押してください。



リセットボタン

リセットボタンを押しても正常に戻らないときや、下記のような場合は、本機の電源をオフにして、購入店またはお近くのケンウッドサービスセンターへ相談してください。

MDやCDが取り出せない。

MDやCDを正しく入れ直してもインジケータの点滅が続く。

ディスクチェンジャーを接続しているのにディスクチェンジャーモードにならない。

操作パネルがスライドした状態のときに異常が起り閉じられない場合は、操作パネルの上部を引き上げながら下部を押すことにより手動で閉めることができます。



## レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

## 温度について

直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。


本機内部が60℃を越える高温になると、保護回路が働いてMDやCDの演奏ができなくなります。このようなときは、車内の温度を下げてください。保護回路機能が解除され、演奏ができる状態になります。もし正常に動作しないときはリセットボタンを押してください。

## 使用できないCD

特殊な形状のCDは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のCDを使用すると故障の原因になります。



記録面（レーベル面の反対側）が着色してあるものや汚れているCDは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。

マークの付いていないICDは使用しないでください。

ファイナライズ処理を行っていないCD-RおよびCD-RWは再生できません。（ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーの説明書をご覧ください）

このほかにもCD-RやCD-RWで記録されたCDは、記録状態により再生できない場合があります。

レーベル面にシールの貼ってあるCDを使用すると、CDが変形したり、シールがはがれることがあります。本機の故障の原因となることもあるため、レーベル面にシールの貼ってあるCDは使用しないでください。

## 結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露（水滴）が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではMDやCDの読み取りができなくなります。

このようなときは、MDやCDを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。

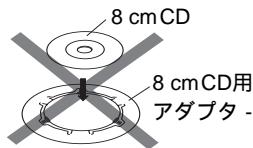
もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、購入店またはケンウッドサービスセンターへ連絡してください。

## CD用アクセサリについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は故障の原因となりますので使用しないでください。



8cmCDはアダプターは使用せず、そのまま挿入してください。8cmCDアダプターを使用するとディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。また、接続するCDチェンジャーで8cmCDを使用する場合は別売品の8cmCD用マガジンをご使用ください。



## データ用のMDについて

データ用のMDは使用できません。音楽用のMDを使用してください。

## ラベルのはがれかかったMDは

ラベルのはがれかかったMDは使用しないでください。ラベルが浮いていたり、はがれかかっているMDを使用すると、本機の中ではがれて取り出せなくなるなど故障の原因となります。

# CDとMDの取り扱い

## CDのお取り扱いについて

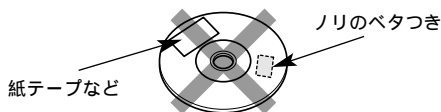
CDの汚れや、ゴミ、キズ、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。取り扱いには記録面に触れないようにしてください。(レーベルが印刷されていない面が記録面です。)



CD-RやCD-RWは通常の音楽CDより反射膜が弱い  
ため、傷が付くことなどにより、はがれることが  
あります。また、指紋による音飛びにも弱いメデ  
ィアです。取り扱いには十分注意をしてください。  
詳細な注意事項がCD-RおよびCD-RWのパッケージ  
などにも書かれています。それらの注意事項も読  
んでから使用してください。

記録面や、レーベルが印刷されている面に紙テー  
プなどを貼らないでください。

CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなど  
のノリがみ出したり、はがした痕があるものは  
お使いにならないでください。そのままCDプレー  
ヤーにかけるとCDが取り出せなくなったり、故障  
することがあります。



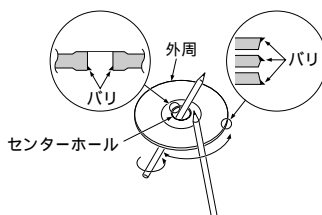
## CDの保存

直射日光が当たる場所(シートやダッシュボードの  
上)など、温度が高い場所には置かないでください。  
特にCD-R、CD-RWは通常の音楽CDに比べ、高温、  
多湿の環境に弱く、ディスクによっては車内に長時  
間放置すると使用できなくなる場合があります。

長期間演奏しないときは、本機からCDを取り出し  
て、ケースに入れて保管してください。  
キズ、汚れ、反りの原因になりますので、ケース  
に入れずに重ねて置いたり、斜めに立てかけて保  
存しないでください。

## 新しいCDを使うときは

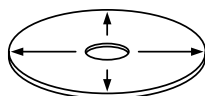
新しいCDを使うときは、CDのセンターホールや  
外周部に“バリ”がないことを確認してください。  
“バリ”がついたまま使用すると、CDが挿入でき  
なかつたり音飛びの原因になります。“バリ”があ  
るときは、ボールペンなどで取り除いてから使用  
してください。



## CDのお手入れ

CDが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや  
柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かっ  
て軽くふき取ってください。

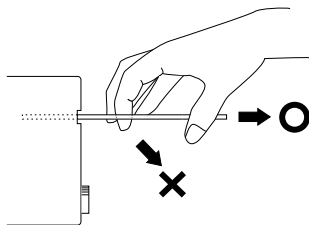
従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シン  
ナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないで  
ください。



## CDの取り出しかた

本機からCDを取り出すときは水平方向に引き出し  
てください。

下側に強く押しながら引き出すとCDの記録面に傷  
を付ける原因となります。



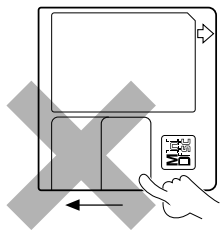
## MDのお手入れ

カートリッジ表面の汚れや、ゴミは乾いた布でふき取ってから使用してください。特に油汚れが付いた状態で使用しますと、ディスクがローディングされなかったり、取り出せなくなることがあります。また、お手入れされるときは、MDのシャッターを開かないようご注意ください。

## MDのシャッターについて

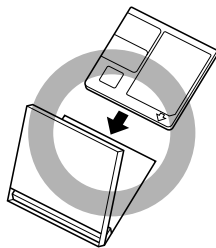
MDのシャッターは開けられないようになっています。無理に開けるとカートリッジが破損して使用できなくなります。

シャッターが何らかの原因で開いてしまったときには、記録部分を指で触らないようにしてください。記録部分に触れると使用できなくなったり、音飛びを頻繁に起こすようになります。



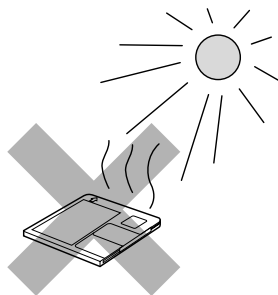
## 保管について

MDを長時間本機に入れたままにしないでください。また、取り出したMDは、MD専用ケースに入れて保管してください。



## 高温に注意


MDを直射日光の当たる場所（ダッシュボードの上など）など温度が高くなるような場所に放置しないでください。MDのカートリッジが変形して使用できなくなります。



ディスクのプレイは簡単！ ディスクを差し込むだけです。





CDをプレイするときは...

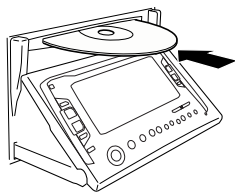
 (CD EJECT) を押して操作パネルをスライドさせ、プレイするCDを差し込みます。CDが引き込まれ、パネルが閉まります。

MP3ファイルが収録されたCDも同様の操作でプレイすることができます。くわしくは「MP3 Mode」(18ページ)をご覧ください。



CDを取り出すときは...

 を押します。操作パネルがスライドして、CDがイジェクトされます。もう一度  を押すとパネルは閉じます。



音量を素早く下げます。もう一度押すと、元の音量に戻ります。



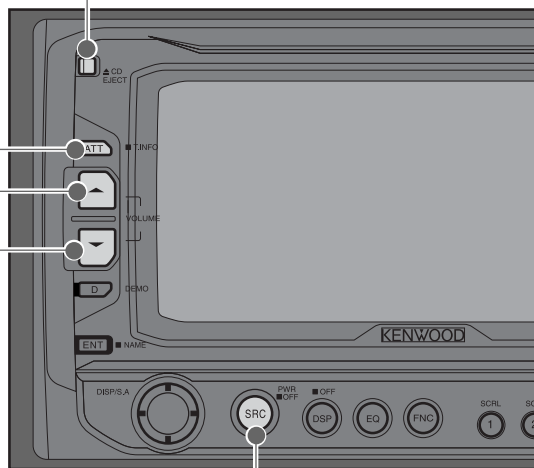
1秒以上押すと、交通情報を受信します。もう一度、1秒以上押すと元に戻ります。



音量を上げます。




音量を下げます。



安全のため、周囲の音が聞こえる音量でお聴きください。  
操作パネルを開いたときにシフトレバーなどに干渉する場合は、安全に注意してシフトレバーを動かしてください。





CDがイジェクトされないときは、CDが出るまで  (CD EJECT) を押し続けてください。MDのイジェクト状態(操作パネルをスライドさせた状態)で可能な操作は、ディスクの挿入、イジェクト、音量調整、ソース選択などだけです。スライドさせたパネルに無理な力を加えないでください。全ての操作は、電源をオンにした状態で行ってください。



電源をオン/オフします。押すと電源がオンになります。1秒以上押すと、電源がオフになります。



MD/CDのプレイとFM/AM放送を切り替えます。

ディスクが入っているときに押すと、FM/AM放送、MD、CD、ALL OFFが切り替わります。MDが入っているときは  インジケーターが点灯し、CDが入っているときは  インジケーターが点灯します。



CDの操作



チューナーの操作



共通の操作

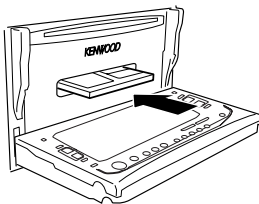


### MDをプレイするときは...

(MD EJECT) を押して操作パネルをスライドさせ、プレイするMDを差し込みます。MDが引き込まれ、パネルが閉まります。

MDLPで録音されたMDも差し込めばプレイできます。

プレイ中のMDがLP2モードのときは“MDLP 2”インジケーター、LP4モードのときは“MDLP 4”インジケーターが点灯します。

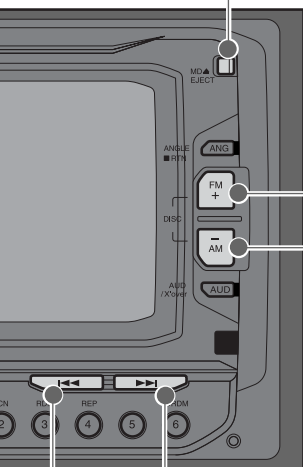


### MDを取り出すときは...

を押します。

操作パネルがスライドして、MDがイジェクトされます。

もう一度 を押すとパネルは閉じます。



FM放送のバンド (FM1/FM2) を切り替えます。



MP3ファイルプレイ中に、次のフォルダを選びます。



AM放送のバンド (AM1/AM2) を切り替えます。



MP3ファイルプレイ中に、前のフォルダを選びます。



プレイする曲を選びます。



交通情報の周波数 (1620kHz/ 1629kHz/ 522kHz) を選びます。



受信する放送局を選びます。

受信状態の良い放送局を自動的に受信します。

チューニングモードの設定により、周波数を1ステップずつ変えたり、メモリーしている放送局を順に受信するようにもできます。(40ページ)

Source Selection/Clock Control

MD/CD Mode/MP3 Mode

Tuner Mode

Name Set Mode

Display Control

DSP Control/Equalizer Control

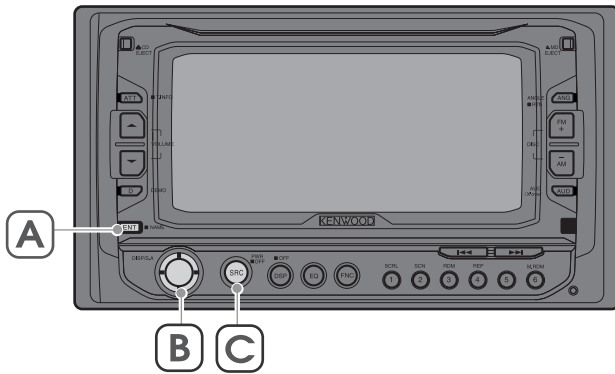
Audio Control

Function Set Mode

Options

Help

# Source Selection / Clock Control

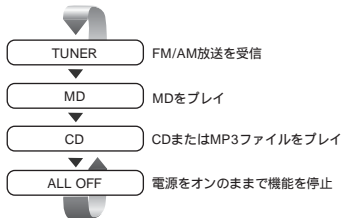


## ソース選択

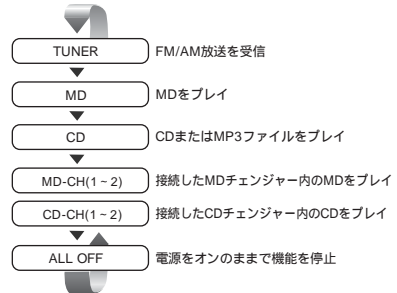
プレイするソースを切り替えます。



押すたびに次の順で切り替わります。



別売品のユニットが接続されているときには、次の順で切り替わります。

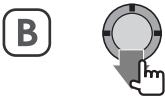


- 別売品のKCA-S210AまたはCA-C1AXに入力したAUXソースは、次のように選択できます。  
KCA-S210Aに入力したAUXソースを選ぶ場合：  
“AUX”表示を選ぶ。  
CA-C1AXに入力したAUXソースを選ぶ場合：  
“DISC-CH”表示を選ぶ。  
(確定後に“AUX Mode”表示になります)

プレイするソースを選びます。  
また、時計表示の時刻合わせをします。

### 時計表示切り替え

時計表示をオン/オフします。



下に動かすたびに、時計表示がオン/オフされます。

### 時刻合わせ

時計表示の時刻を合わせます。

1 ALL OFFモードにします

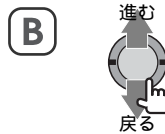


2 時刻合わせを開始します



○表示が点滅するまで押し続けます。

3 “時” を合わせます



4 “分” を合わせます

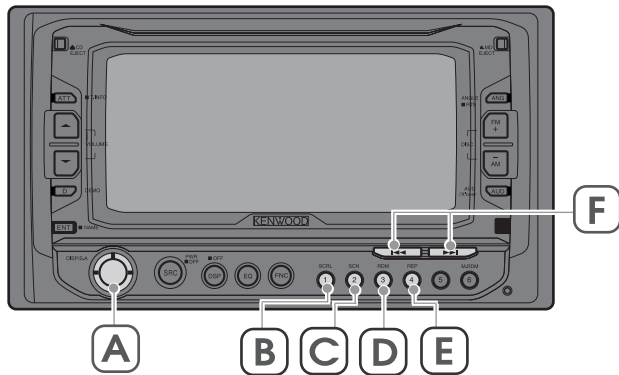


5 時刻合わせを終了します



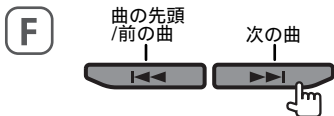
分を調整したときは、00秒からカウントがスタートします。

# MD/CD Mode



## トラックサーチ

順に曲を選びます。



## マニュアルサーチ

現在プレイ中の曲を早送り / 早戻しします。



ボタンを押している間だけ、早送り / 早戻しされます。

## トラックリピートプレイ

現在聴いている曲を繰り返しプレイします。



押すたびに、トラックリピートプレイがオン / オフされます。トラックリピートプレイがオンになるときは、REPインジケーターが点灯します。

## ランダムプレイ

現在のディスク内の曲をランダムな順でプレイします。



押すたびに、ランダムプレイがオン / オフされます。ランダムプレイ中はRDMインジケーターが点灯します。

● を押すと次の曲をランダムに選択します。



MDやCDをいろいろな機能を使ってプレイします。

基本的なMDとCDの聴きかたはEZ Operation (12ページ) をご覧ください。

## トラックスキャンプレイ

ディスク内の各曲の先頭部分を10秒間ずつプレイして曲を探すことができます。

### 1 トラックスキャンプレイを開始します



トラックスキャンプレイ中はSCNインジケータが点灯します。

### 2 聴きたい曲のところで...



その曲からプレイされます。

- すべてのトラックがスキャンされると、トラックスキャンプレイは、自動的に終了します。

## タイトル/テキストスクロール

“AT.SCRL”設定が“Off”のときにタイトル/テキスト表示をスクロールさせます。

### 1 タイトル/テキスト表示にします



「ディスプレイ情報表示切り替え」(26ページ)を参照して、ディスク/トラックタイトルまたはディスク/トラックテキストを表示します。

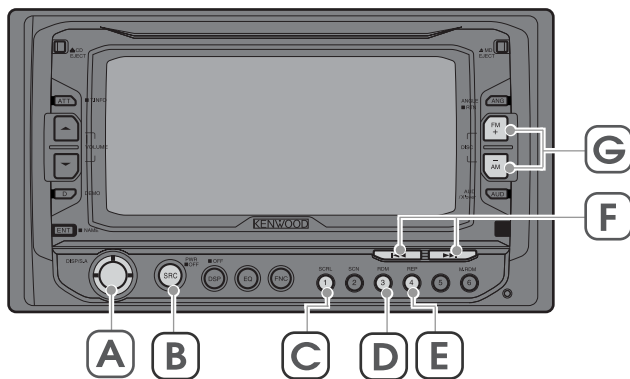
### 2 スクロール表示します



タイトルまたはテキスト表示が1回スクロールします。

- “AT.SCRL”設定が“On”になっているときに上記の操作を行うと、ディスク/トラックタイトルまたはディスク/トラックテキストが最初の文字からスクロールを開始します。“AT.SCRL”設定の方法は、40ページの「ファンクションセット」を参照してください。

# MP3 Mode



## MP3ファイルプレイ

MP3ファイルを聴きます。

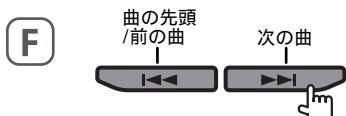


MP3ファイルをプレイするには、本機にMP3ファイルの収録されているメディアを挿入します。挿入されているときは、ソース選択でCDモードを選択します。

- 本機でプレイできるメディアはCD-ROM、CD-R、CD-RWです。また、フォーマットがISO9660 level1/ level 2、JolietまたはRomeoのメディアを使用してください。MP3ファイルの書き込み方法や注意などが「Help? MP3」(53ページ)に記載してあります。メディアを作成する前にご覧ください。
- プレイを開始するまで、MP3ファイルが収録されているメディアかを確認するため、音楽CDをプレイするときより時間がかかります。

## ファイルサーチ

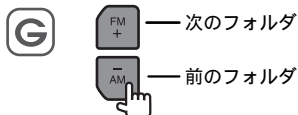
順に曲を選びます。



- ファイルサーチにはフォルダ階層の状態により時間がかかります。

## フォルダサーチ

順にフォルダを選びます。



押すたびに、次のフォルダ / 前のフォルダへとフォルダサーチします。選択したフォルダ内にファイルがない場合は、自動的にプレイ順で一番近いファイルをプレイします。

- ファイル数およびフォルダ階層の状態によりフォルダサーチに時間がかかることがあります。

## マニュアルサーチ

現在プレイ中の曲を早送り / 早戻しします。



ボタンを押している間だけ、早送り / 早戻しされます。

- マニュアルサーチ中は、演奏時間は表示されず、また、音声も出力されません。早戻しができるのは、再生中のファイルの先頭までです。

MP3ファイルを収録したメディアも、本機でプレイできます。

基本的なMP3ファイルの聴きかたはEZ Operation (12ページ)をご覧ください。

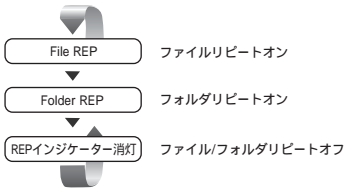
## ファイル/フォルダリピートプレイ

現在聴いている曲を繰り返しプレイします。



押すたびに、次のようにリピートプレイがオン/オフします。

リピートプレイがオンのときは、REPインジケータが点灯します。



## ランダムプレイ

現在聴いているフォルダ内の曲をランダムな順でプレイします。



押すたびに、ランダムプレイがオン/オフされます。ランダムプレイ中はRDMインジケータが点灯します。

を押すと次の曲をランダムに選択します。

## ネームスクロール

“ AT.SCRL ” 設定が “ Off ” のときにフォルダ/ファイルネームやID3 tag表示をスクロールさせます。

### 1 フォルダ/ファイルネーム、ID3 tag表示にします



「ディスプレイ情報表示切り替え」(26ページ)を参照して、フォルダネーム、ファイルネーム、ID3タイトル&アーティスト、またはID3アルバムを表示します。

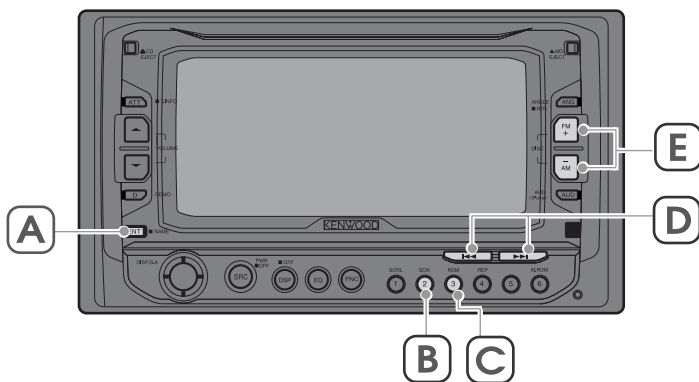
### 2 スクロール表示します



表示中のフォルダネーム、ファイルネーム、ID3タイトル&アーティスト、またはID3アルバムが1回スクロール表示します。

● “ AT.SCRL ” 設定が “ On ” になっているときに上記の操作を行うと、フォルダ/ファイルネーム、ID3 tag表示が最初の文字からスクロールを開始します。(“ AT.SCRL ” 設定の方法は、40ページの「ファンクションセット」を参照してください)

# MP3 Mode



## フォルダセレクト

聴きたい曲の入っているフォルダをすばやく選択します。

### 1 フォルダセレクトモードにします



MP3ファイルプレイが中止され、フォルダセレクトモードになります。

ディスプレイに以下の表示がされます。

(KENWOOD)

<フォルダネーム表示>  
フォルダネームを表示します。

- フォルダが1つも記録されていないメディアでは、フォルダセレクトモードに入ることができません。

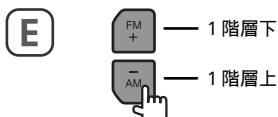
### 2 フォルダを選びます

同階層内にあるフォルダ間を移動します



押すたびに、同階層内で次のフォルダ / 前のフォルダへと移動します。

フォルダの階層を選択します



押すたびに、1階層上/1階層下へと移動します。

第1階層へ戻ります (Root Jump)



現在聴いているメディアの最上階層のフォルダに戻ります。

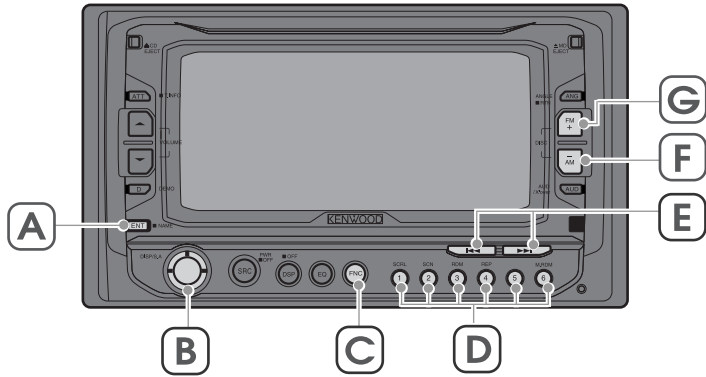
- フォルダセレクト時のフォルダの移動のしかたは、フォルダサーチとは異なります。くわしくは「Help? MP3」(53ページ)を参照してください。

**3** 聴きたい曲が入っているフォルダで...

フォルダセレクトモードが終了し、そのフォルダ内の最初のMP3ファイルがプレイされます。

- フォルダセレクトモードを終了して、選択したフォルダにMP3ファイルがないときは、プレイ順で一番近いファイルがプレイされます。

# Tuner Mode



## バンド切り替え

FM1とFM2に切り替えます。



AM1とAM2に切り替えます。



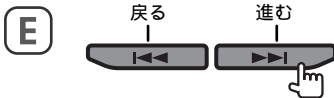
## チューニング

受信する放送局を選びます。

### 1 バンドを選びます

前記の「バンド切り替え」を参照してバンドを選びます。

### 2 放送局を選びます



チューニングモードが“ AUTO1 ”のとき (AUTO 1インジケーターが点灯しています) 受信状態の良い放送局を自動的に選びます。  
 チューニングモードが“ AUTO2 ”のとき (AUTO 2インジケーターが点灯しています) メモリーされている放送局を番号順に受信します。(メモリーの方法は右ページをご覧ください)

チューニングモードが“ Manual ”のとき 押すたびに、周波数が1ステップずつ変わります。

- チューニングモードは「ファンクションセット」(40ページ)の“ Seek ”項目で選択できます。FMステレオ放送を受信するとSTインジケーターが点灯します。

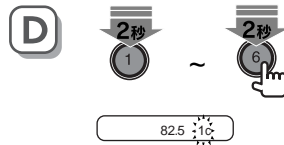
## マニュアルメモリー

受信中の放送局をメモリーします。

### 1 メモリーする放送局を選びます

前記の「バンド切り替え」および「チューニング」を参照して放送局を選びます。

### 2 メモリーボタン(1~6のいずれか)を選びます



ボタンナンバー表示が1回点滅するまで押し続けます。

FM/AM放送を受信します。  
また、各バンドごとに6局までの放送局をメモリーしておくこともできます。

基本的なFM/AM放送の聴きかたはEZ Operation ( 12ページ ) をご覧ください。

## オートメモリー

受信状態の良い放送局を自動的に選んでメモリーします。

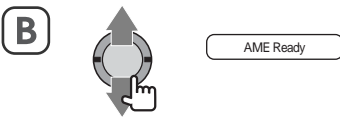
### 1 バンドを選びます

前記の「バンド切り替え」を参照してバンドを選びます。

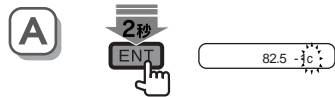
### 2 ファンクションセットモードにします



### 3 オートメモリー項目を選択します



### 4 オートメモリーを開始します



周波数表示になるまで押し続けます。  
6局メモリーするか、周波数を1周すると自動的にオートメモリーは終了します。

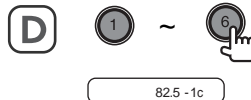
## プリセットチューニング

メモリーボタン ( 1 ~ 6 ) にメモリーされている放送局を受信します。

### 1 バンドを選びます

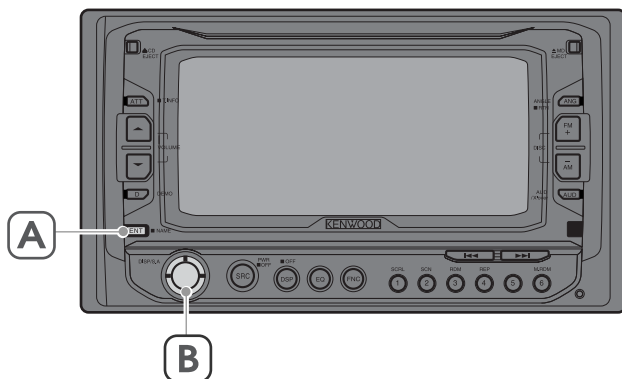
前記の「バンド切り替え」を参照してバンドを選びます。

### 2 メモリーボタン ( 1 ~ 6 のいずれか ) を選びます



選んだメモリーナンバーが表示され、メモリーされている周波数が呼び出されます。

# Name Set Mode



**DNPS (ディスクネームプリセット) / SNPS (ステーションネームプリセット)**  
 CDとFM/AM放送局に名前を付けます。

**1 名前を付けるCD/放送局を選びます**

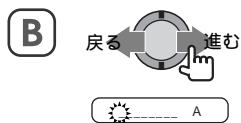
- MDにDNPSを行うことはできません。  
 MP3が収録されているCDにDNPSを行うことはできません。  
 交通情報モード中に受信している放送局にも同様の操作で名前を付けることができます。

**2 ネームセットモードにします**



“Name Set” と表示されるまで押し続けます。

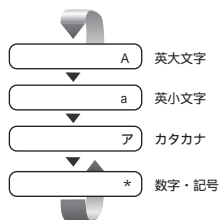
**3 文字を入力する位置にカーソルを移動します**



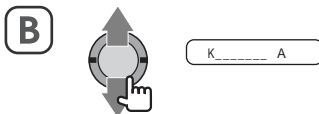
**4 文字の種類を選びます**



押すたびに次の順で切り替わります。



**5 文字を選びます**



**6 3～5を繰り返して、すべての文字を入力します**



FM/AM放送局や本機内蔵CDプレーヤーと別売品のCDチェンジャーにセットされているCDに名前を付けて表示させることができます。

## 7 ネームセットモードを終了します



10秒間以上何も操作しないと、その時点で名前が確定されます。

DNPSは本機内蔵のCDプレーヤーと別売品のCDチェンジャーを合わせて50枚まで登録できます。SNPSはFM放送局とAM放送局を合わせて30局まで登録できます。

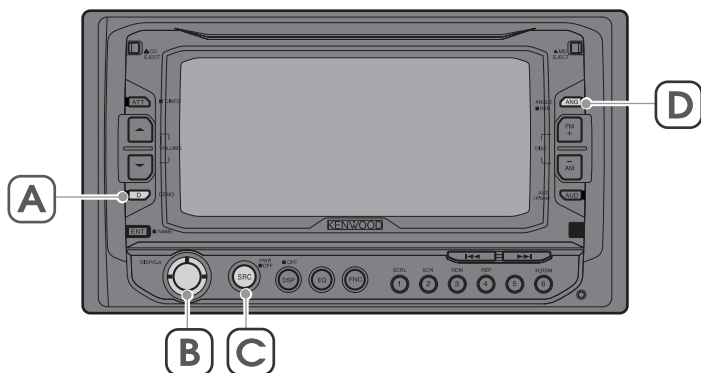
名前は8文字まで登録できます。

CDはトラック数(曲数)と総録音時間で識別されます。このため、これらが同じCDの場合には識別できません。

バッテリーから本機を外すとDNPS/SNPSは消去されます。

登録した名前を変更するには、変更したいCDや放送局の名前を表示させたあと、手順2～6の操作により変更できます。

# Display Control

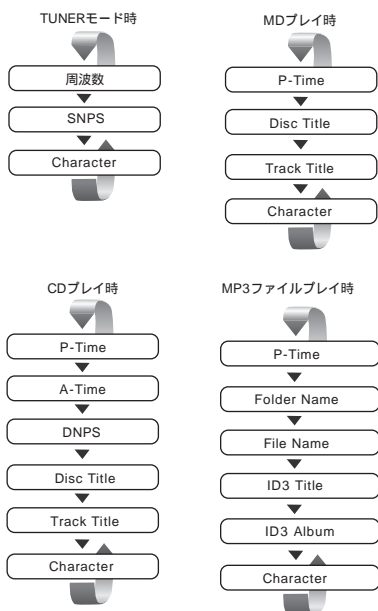


## ディスプレイ情報表示切り替え

ディスプレイに表示される情報を切り替えます。



上へ動かすたびに次の順で切り替わります。



- P-Time : 聴いている曲の演奏時間
  - A-Time : 聴いているCD全体でのトータル演奏時間
  - DNPS : ディスクネームプリセット (24ページ)
  - SNPS : ステーションネームプリセット (24ページ)
  - ID3 Title : ID3 タイトル & アーティスト
  - ID3 Album : ID3 アルバム名
- なお、CDプレイ時のDisc Titleはディスクテキスト、Track Titleはトラックテキストが表示されます。

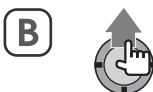
## ALL OFFモード中表示切り替え

ALL OFFモード中のディスプレイ表示を選びます。

### 1 ALL OFFモードにします



### 2 表示を選びます



上へ動かすたびに次の順で切り替わります。



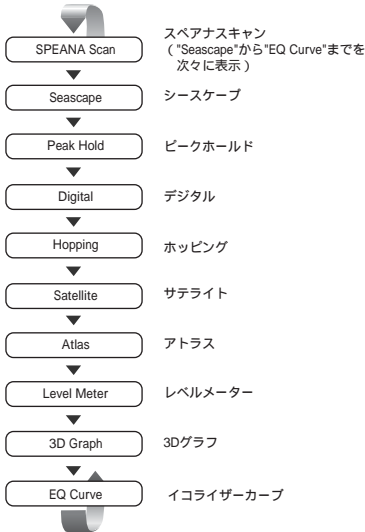
操作パネルの角度の調節やディスプレイの表示の設定をします。

### アナライザーの切り替え

スペクトラムアナライザー表示を切り替えます。



動かすたびに次の順で切り替わります。



### 操作パネル角度調節

操作パネルを見やすい角度に調整します。

パネルをスライドします。



押すたびに、操作パネルが1ステップずつ10段階にスライドします。

パネルを元の位置に戻します。



パネルが動き始めるまで押し続けます。

⚠ パネルスライド中は、FM/AM放送の音は出力されません。

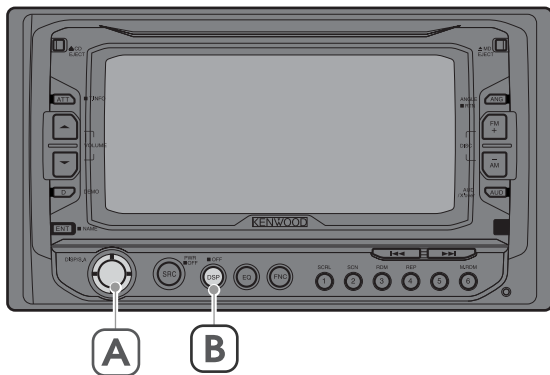
### デモンストレーション切り替え

デモンストレーション表示にします。



押すたびに、デモンストレーションがオン/オフします。

# DSP Control



## DSPシステム

DSP機能を使います。

DSPシステムをオンにします



DSP効果のかかった音が出力されます。DSPシステムがオンのときには、DSPインジケータが点灯します。

DSPの設定はDSPシステムがオンの状態でのみ行えます。

❗ 「オーディオコントロール」(36ページ)の「B-」および「F-」を中央以外に設定すると、正しいDSP効果が得られません。DSPシステムをオンにしたときは、「B-」および「F-」を中央位置で使用してください。

交通情報モード中は、自動的にDSP機能が解除(バイパス)されます。

DSPシステムをオフにします



“DSP Off”と表示されるまで押し続けるか、またはDSPインジケータが消えるまで押し続けます。

DSP効果が解除されます。

## DSPの設定

DSPの効果を設定します。

### 1 DSP調整モードにします



DSPシステムがオフのとき(DSPインジケータが消灯時)は2回押します。

### 2 設定する項目を選択します



動かすたびに次の順で設定項目が切り替わります。

- Stadium ホールシミュレーション設定
- Nuance レベル/ニュアンス設定 (DSP効果のレベル調節)
- DBB DSPバスブースト設定 (リア側の低音量の調節)
- Comp コンプレッション設定 (ダイナミックレンジを圧縮して小さな音を聞きやすくする)
- ALL ポジション設定 (聴く位置を設定してDSP効果を調節)
- Room ルームサイズ設定 (車室サイズに合わせてDSP効果を調節)

❗ ホールシミュレーション設定が“Bypass”(バイパス)の場合は、レベルニュアンス設定とDSPバスブースト設定は行えません。ポジションが“ALL”(車室の中央)の場合は、ルームサイズ設定は行えません。

DSP (デジタルシグナルプロセッサ) の設定ができます。  
また、設定内容を調整することもできます。

3 設定値を選択します



設定項目ごとの設定値は次のとおりです。

ホールシミュレーション

- Stadium (スタジアム)
- Concert Hall (コンサートホール)
- Live House (ライブハウス)
- Theater (劇場)
- Disco (ディスコ)
- Club Disco(クラブディスコ)
- Jazz Club(ジャズクラブ)
- Studio(スタジオ)
- Listening(リスニングルーム)
- Church(教会)
- Bypass(バイパス)

ニュアンス

- Low (DSP効果小)
- Mid (初期設定)
- High (DSP効果大)

DSP/ブースト

- STEP 1(ブースト域狭)
- STEP 2(初期設定)
- STEP 3(ブースト域広)

コンプレッション

- Off (初期設定)
- STEP 1(圧縮レベル小)
- STEP 2
- STEP 3(圧縮レベル大)

ポジション

- ALL(車室の中央)
- Front-Right(前部座席右側)
- Front-Left(前部座席左側)
- Front(前部座席中央)
- Rear(後部座席中央)

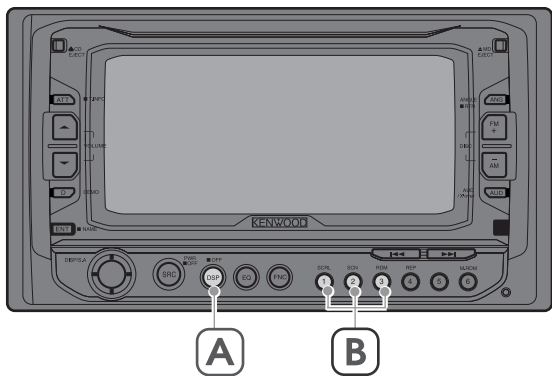
ルームサイズ

- Small(コンパクトカーなど)
- Medium(セダンなど)  
(初期設定)
- Large(1BOXやRVなど)

4 DSP調整モードを終了します



または、約10秒間以上、なにも操作しないで  
おきます。



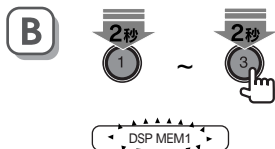
## ユーザー設定のメモリー

DSP設定を3種類までメモリーしておくことができます。

### 1 DSPを設定します

前記の「DSPの設定」(28ページ)の手順1~3を参照してDSPの設定をします。

### 2 メモリーボタン(1~3のいずれか)を選択します



“DSP MEM”表示が1回点滅するまで押し続けます。

- 手順2の操作をする前に、DSPコントロールモードが解除された場合は、再び を押してDSPコントロールモードにしてから手順2の操作をしてください。

## ユーザー設定の呼び出し

メモリーしたDSPの設定を呼び出します。

### 1 DSP調整モードにします



DSPシステムがオフのとき(DSPインジケーターが消灯時)は2回押します。

### 2 呼び出すメモリーボタン(1~3)を選択します



メモリーされているDSP設定が呼び出されません。

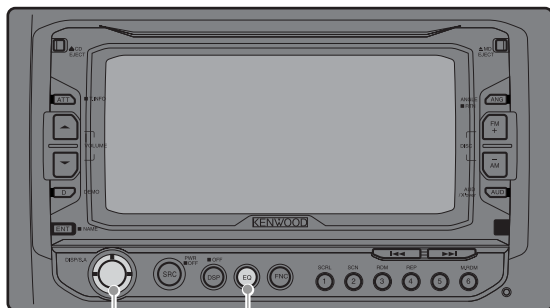
### 3 DSP調整モードを終了します



または、約10秒間以上、なにも操作しないでおきます。



# Equalizer Control



A

B

## イコライザーカーブの選択

イコライザーカーブを呼び出します。

### 1 イコライザーコントロールモードにします

B



EQ CTRL

### 2 イコライザーカーブを選択します

B



押すたびに次の順で切り替わります。



- イコライザーカーブの調節をしたときは、“User”から選択が始まります。

### 3 イコライザーコントロールモードを終了します

B



1秒以上押し続けるとイコライザーコントロールモードが終了します。  
または、約10秒間以上、なにも操作しないでおきます。



イコライザーカーブの設定や調節をします。

## イコライザーカーブの調節

車や音楽に合わせて独自のイコライザーカーブに調節できます。

### 1 イコライザーコントロールモードにします

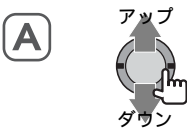


### 2 調節する周波数を選びます



60Hz ~ 16kHz ( 9 ステップ ) から選択します。

### 3 レベルを調節します



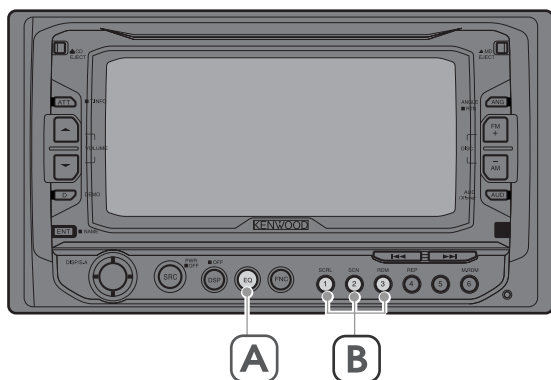
- 12dB ~ +12dB ( 13ステップ ) から選択します。

### 4 イコライザーコントロールモードを終了します



1秒以上押し続けるとイコライザーコントロールモードが終了します。  
または、約10秒間以上、なにも操作しないでおきます。

# Equalizer Control



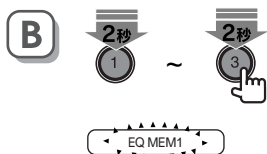
## ユーザー設定のメモリー

イコライザーの設定を3種類までメモリーしておくことができます。

### 1 イコライザーを設定します

前記の「イコライザーカーブの調節」(33ページ)の手順1~3を参照してイコライザーの設定をします。

### 2 メモリーボタン(1~3のいずれか)を選択します



“EQ MEM”表示が1回点滅するまで押し続けます。

- 手順2の操作をする前に、イコライザーコントロールモードが解除された場合は、再びEQを押してイコライザーコントロールモードにしてから手順2の操作をしてください。

## ユーザー設定の呼び出し

メモリーしたイコライザーの設定を呼び出します。

### 1 イコライザーコントロールモードにします



### 2 呼び出すメモリーボタン(1~3)を選択します



メモリーされているイコライザーカーブが呼び出されます。

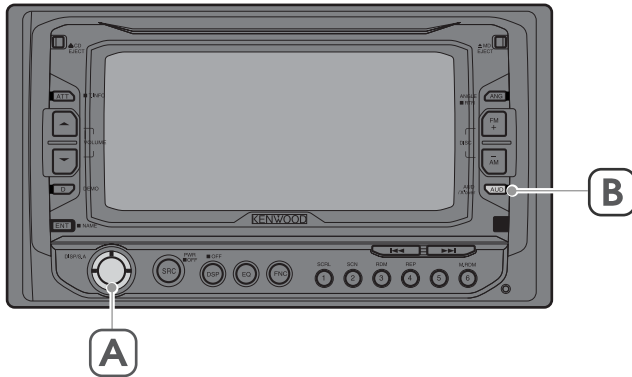
### 3 イコライザーコントロールモードを終了します



1秒以上押し続けるとイコライザーコントロールモードが終了します。  
または、約10秒間以上、なにも操作しないで済みます。



# Audio Control



## オーディオコントロール

音量バランスなどを設定します。

### 1 オーディオ調整モードにします



- オーディオコントロールはALL OFFモード以外のモード中に設定できます。

### 2 コントロールモードを選びます

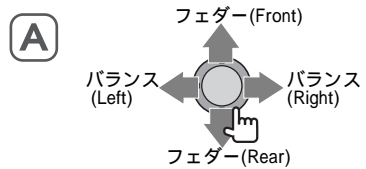


押すたびに、「アンブコントロールモード」、「フロント/リアクロスオーバーモード」、「ノンフェダークロスオーバーモード」、「バランス/フェダーモード」とに切り替わります。

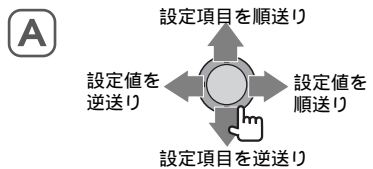
- 「ノンフェダークロスオーバーモード」は「ファンクションセット」(40ページ)の「Preout」項目が「N-F」に設定されているときに選択できます。

### 3 設定項目と値を選択します

バランス/フェダーモード中は・・・



その他のモード中は・・・



### 4 オーディオ調整モードを終了します



設定できる項目と値は次のとおりです。

- 設定項目の詳しい機能説明は「Help? Word」(56ページ)を参照してください。  
太字は初期設定値です。

音量バランスの調節やサブウーファー追加時のクロスオーバーネットワークの設定などをします。  
また、交通情報を受信時の音量を設定します。

### バランス/フェダーモード中の設定項目

設定項目	設定値
B- (左右の音量バランス)	L15 ~ 00 ~ R15
F- (前後の音量バランス)	F15 ~ 00 ~ R15

### アンプコントロールモード中の設定項目

設定項目	設定値
Amp Cont (外部アンプコントロール)	Off/ 1 / 2

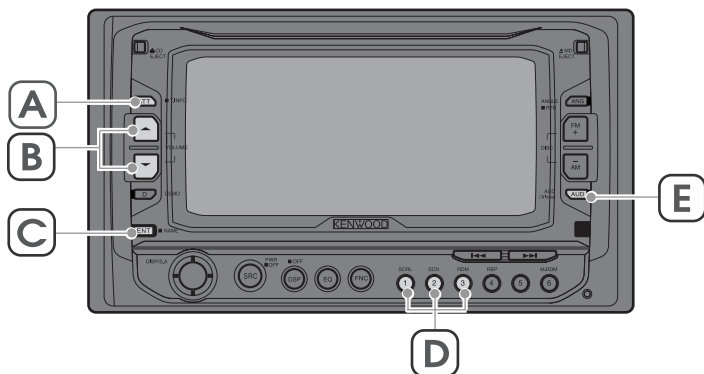
### フロント/リアクロスオーバーモード中の設定項目

設定項目	設定値
HPF-F (フロント低音カット)	Off/30/60/90/ 120/150/180/250(Hz)
HPF-R (リア低音カット)	Off /30/60/90/ 120/150/180/250(Hz)
HPF Slope (低音カッタスロープ)	12/18/24 (dB/Oct.)
T-DLY F (フロント遅延時間)	Off/0.5 ~ 18 (ms)
T-DLY R (リア遅延時間)	Off/0.5 ~ 18 (ms)

### ノンフェダークロスオーバーモード中の設定項目

設定項目	設定値
LPF (ノンフェダー高音カット)	60/80/100/120/150/ Off (Hz)
LPF Slope (高音カッタスロープ)	12/18/24 (dB/Oct.)
T-DLY NF (ノンフェダー遅延時間)	Off/0.5 ~ 18 (ms)
N-F (ノンフェダーブ リアウト出力レベル)	- - - ~ 00 ~ + 10

# Audio Control



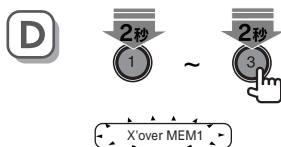
## クロスオーバー設定のメモリー

クロスオーバーの設定を3種類までメモリーしておくことができます。

### 1 クロスオーバーを設定します

前記の「オーディオコントロール」(36ページ)の手順1~3を参照して、「フロント/リアクロスオーバーモード」、および「ノンフェーダークロスオーバーモード」の調整をします。

### 2 メモリーボタン(1~3のいずれか)を選びます



“X'over MEM”表示が1回点滅するまで押し続けます。

フロント/リアクロスオーバーモード、およびノンフェーダークロスオーバーモードの設定がメモリーされます。

### 3 オーディオ調整モードを終了します



- クロスオーバーモードの設定項目のうち、“N-F”項目の設定値はメモリーされません。

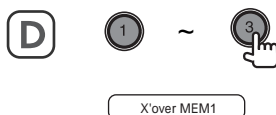
## クロスオーバー設定の呼び出し

メモリーしたクロスオーバー設定を呼び出します。

### 1 クロスオーバーコントロールモードにします

前記の「オーディオコントロール」(36ページ)の手順1~2を参照して「フロント/リアクロスオーバーモード」または「ノンフェーダークロスオーバーモード」にします。

### 2 呼び出すメモリーボタン(1~3)を選びます



### 3 オーディオ調整モードを終了します



## 交通情報音量設定

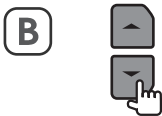
交通情報受信時の音量をメモリーします。

### 1 交通情報モードにします



“ TRAFFIC ” と表示されるまで押し続けます。

### 2 設定したい音量にします



### 3 音量をメモリーします

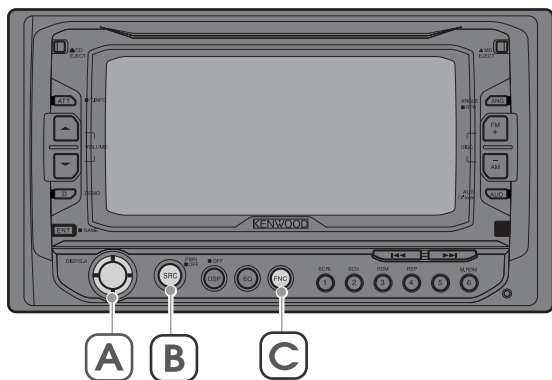


音量表示が1回点滅するまで押し続けます。

次回から交通情報モードにすると、自動的にこの設定した音量になります。

手順3の操作は音量表示中に行ってください。

# Function Set Mode



## ファンクションセット

操作時のピーブ音などの各種の機能を設定します。

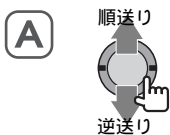
### 1 設定したい項目があるモードにします



### 2 ファンクションセットモードにします

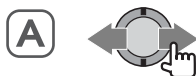


### 3 設定項目を選択します



右表の順番で設定項目が切り替わります。

### 4 設定値を選択します



### 5 ファンクションセットモードを終了します



設定できる項目と値は次のとおりです。

- 設定項目の詳しい機能説明は「Help? Word」(56ページ)を参照してください。  
太字は初期設定値です。

#### MD/CD(MP3)/CHモード中の設定項目

設定項目	設定値
AT.SCRL (ディスクタイトル/CDテキスト オートスクロール)	On/Off

- MDプレイ時とCD(MP3)プレイ時のそれぞれで設定が可能です。

#### MP3ファイルプレイ中の設定項目

設定項目	設定値
ID3 Tag (MP3 ID3 Tagの読み込み・表示設定)	On/Off



本機の各種の機能を設定します。

#### TUNERモード中の設定項目

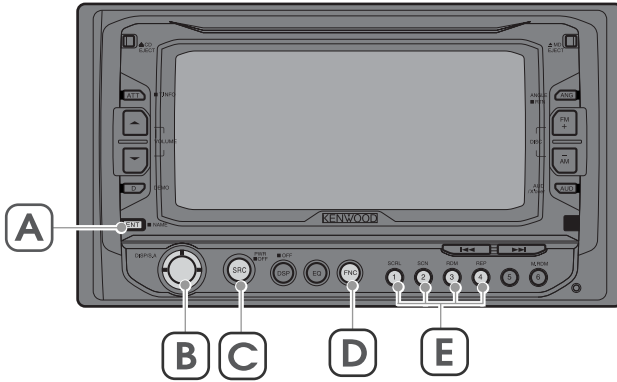
設定項目	設定値
Seek (チューニングモード)	AUTO1/AUTO2/ Manual
MONO (FM放送モノラルチューニング)	On/Off
AME Ready (オートメモリー)	メモリーの方法は23ページをご覧ください。

- "MONO"項目はFM放送を受信時に設定が可能になります。
- FM放送モノラルチューニングをオンにしているときは **MC** インジケータが点灯します。

#### ALL OFFモード中の設定項目

設定項目	設定値
BEEP (ビーブ音)	On/Off
Preout (プリアウト出力選択)	Rear/N-F
Opening (電源オン時のデモンストレーション表示)	On/Off
CODE STBY (セキュリティコードの登録モード)	登録の方法は42ページをご覧ください。
NAV . ATT (ナビ音声ガイド時のミュート設定)	On/Off
AMP MUTE (内蔵アンプの出力停止設定)	On/Off

# Function Set Mode



## セキュリティコード

暗証番号を登録することにより盗難を抑制します。

- 設定したセキュリティコードは変更・削除はできません。また、機能の解除もできません。
- コードは忘れないようにメモを取るなどしてください。

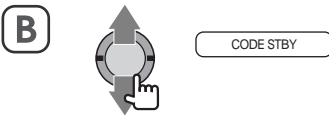
### 1 ALL OFFモードにします



### 2 ファンクションセットモードにします



### 3 セキュリティコード項目を選択します



### 4 セキュリティコード入力を開始します



“CODE WRITE”と表示されるまで押し続けます。

### 5 セキュリティコードを入力します



例：3510の場合

ボタン	①	②	③	④
押す回数	4	6	2	1
表示	3	5	1	0

### 6 セキュリティコードを登録します



セキュリティコードを設定すると、電源コードを外したときなどの次に使うときは、設定したセキュリティコードを入力しないと電源がオンできないようになり、盗難防止の手助けとなります。

## 7 セキュリティコードを再入力します



確認のためセキュリティコードを手順5の方法で再度入力します。

- 手順5と違うコードを入力して手順8の操作を行うと、手順5の1回目のセキュリティコードの入力に戻ります。

## 8 セキュリティコードを再登録します



セキュリティコードの登録が完了後に、リセットボタンを押したり、本機をバッテリーの接続から外すと、登録したセキュリティコードの入力が必要になります。詳しくは次をご覧ください。

リセットボタンを押したり、本機をバッテリーから外してから最初に使うときは・・・

## 1 セキュリティコード入力状態にします

CODE \*\*\*\*

電源をオンにしてから、デモンストレーション終了後に“CODE \*\*\*\*”表示がされるまで数秒間待ちます。


## 2 セキュリティコードを入力します



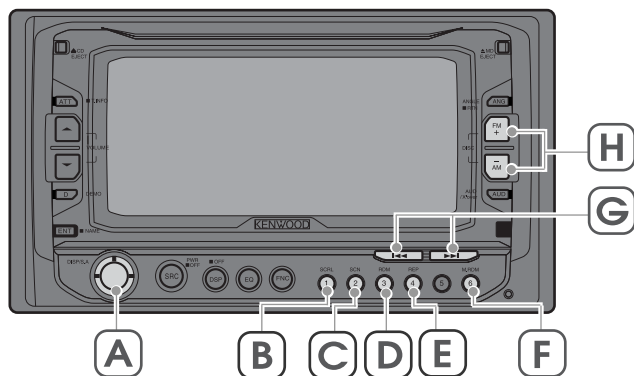
## 3 セキュリティコードを確定します



本機が使用可能となります。

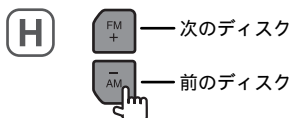
- セキュリティコードを登録したときと違うコードで入力すると、“CODE NG!”と表示した後、電源が自動的にオフになります。このようなときは、を押して電源をオンにしてから再度セキュリティコードを入力してください。

# External Disc Control



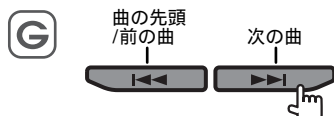
## ディスクサーチ

プレイするディスクを選択します。



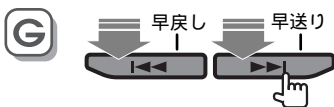
## トラックサーチ

順に曲を選びます。



## マニュアルサーチ

現在プレイ中の曲を早送り / 早戻しします。



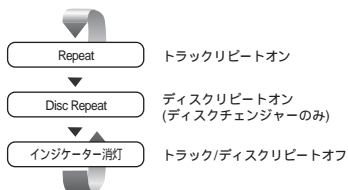
ボタンを押している間だけ、早送り / 早戻しされます。

## トラック/ディスクリピートプレイ

現在聴いている曲またはディスクを繰り返しプレイします。



押すたびに、次のようにオン/オフします。トラックリピートプレイがオンのときはREPインジケータが点灯し、ディスクリピートプレイがオンのときはD.REPインジケータが点灯します。



## トラックランダムプレイ

現在のディスク内の曲をランダムな順でプレイします。



押すたびに、トラックランダムプレイがオン/オフされます。ランダムプレイ中はRDMインジケータが点灯します。

! 3 を押すと次の曲をランダムに選択します。

別売品のディスクチェンジャーなどを接続しているときは、本機からコントロールできます。

ディスクチェンジャーへの切り替えかたは「ソース選択」(14ページ)をご覧ください。

## マガジンランダムプレイ

マガジン内のディスクの曲をランダムな順でプレイします。



押すたびに、マガジンランダムプレイがオン/オフされます。マガジンランダムプレイがオンときは、M.RDMインジケーターが点灯します。

● ● を押すと次の曲をランダムに選択します。

## トラックスキャンプレイ

ディスク内の各曲の先頭部分を10秒間ずつプレイして曲を探ることができます。

### 1 トラックスキャンプレイを開始します



トラックスキャンプレイ中はSCNインジケーターが点灯します。

### 2 聴きたい曲のところで...



その曲からプレイされます。

● ● すべてのトラックがスキャンされると、トラックスキャンプレイは、自動的に終了します。

## タイトル/テキストスクロール

“AT.SCRL”設定が“Off”のときにタイトル/テキスト表示をスクロールさせます。

### 1 タイトル/テキスト表示にします



「ディスプレイ情報表示切り替え」(26ページ)を参照して、ディスク/トラックタイトルまたはディスク/トラックテキストを表示します。

### 2 スクロール表示します



タイトルまたはテキスト表示が1回スクロールします。

● ● “AT.SCRL”設定が“On”になっているときに上記の操作を行うと、ディスク/トラックタイトルまたはディスク/トラックテキストが最初の文字からスクロールを開始します。(“AT.SCRL”設定の方法は、40ページの「ファンクションセット」を参照してください)

# Help ? Operation

## 電源がオンにならない

ヒューズが切れている。

入出力ケーブル、電源コード、パワーコントロールコードなどの接続が間違っている。

コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。  
取付説明書を参照して正しく接続し直してください。

## 音が出ない/音が小さい

音量が最小になっている。  
アッテネーターがオンになっている。  
フェダー、バランスが片方に寄っている。  
「ファンクションセット」の「AMP MUTE」項目が「On」に設定されている。

音量を適度に上げてください。  
アッテネーターをオフにしてください。(12ページ)  
フェダーやバランスを正しく調整してください。(36ページ)  
「ファンクションセット」の「AMP MUTE」項目を「Off」に設定してください。(40ページ)

## 操作スイッチを押しても動作しない

操作パネルがスライドしている。  
内蔵のマイコンが誤動作している。

操作パネルを閉じてください。  
リセットボタンを押してください。(8ページ)

## 音質が悪い(音がひずむ)

音量が大きすぎる。  
スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。  
スピーカーの配線が間違っている。

音量を適正に調整してください。  
スピーカーの配線を確認してください。  
スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカーと正しく接続してください。

## チューナーの感度が悪い

自動車のアンテナが伸びていない。  
アンテナコントロール電源が接続されていない。  
アンテナ入力がかきちんと接続されていない。

アンテナを十分に伸ばしてください。  
取付説明書を参照して正しく接続し直してください。

アンテナ入力を確実に接続してください。

## SRCボタンを押しても、CHに切り替わらない

それぞれのソースを聴くのに必要な別売品のユニットが接続されていない。  
別売品ユニットを接続後にリセットボタンが押されていない。  
別売品ユニットのO-NスイッチをO側にしている。  
本機が対応していないディスクチェンジャーを使用している。

接続されていないソースには切り替わりません。取付説明書を参照して正しく接続してください。  
リセットボタンを押してください。(8ページ)

O-NスイッチはN側に設定してください。

対応モデルのディスクチェンジャーをお使いください。(8ページ)

## MD/CD/External Disc Control Mode

### SRCボタンを押してもディスク (MD/CD) に切り替わらない

ディスクが入っていない。

プレイするディスクを入れてください。

### ディスク (MD/CD) が入らない

すでにディスクが入っている。

入っているディスクを取り出してから入れてください。

### MDが引き込まれない

MDを入れる方向が間違っている、または裏返しになっている。

正しい方向で入れてください。

### ディスク (MD/CD) のプレイ中に振動で音飛びする

取り付け角度が30°を超えている。  
取り付けが不安定になっている。

CDが異常に汚れている。

30°以下になるように取り付けしなおしてください。  
しっかりと取り付け直してください。なお、駐停車中でも音飛びする場合や同じ場所で音飛びする場合はディスクに原因があります。  
「CDのお手入れ」を参照して、CDをクリーニングしてください。(10ページ)

### CDをプレイできない

CDが裏返しである。  
CDが異常に汚れている。

結露している。  
CDが内部的に検出されていない。

レーベル面を上にして入れ直してください。  
「CDのお手入れ」を参照して、CDをクリーニングしてください。(10ページ)  
しばらく放置してから使用してください。(9ページ)  
リセットボタンを押してCDを取り出してから、再度CDを挿入してください。

### 選曲操作をしても、目的の曲に切り替わらない

ランダムプレイがオンになっている。

ランダムプレイをオフにしてください。(16/19/44ページ)

### 同じ曲を繰り返しプレイするだけで、次の曲に進まない

リピートプレイがオンになっている。

リピートプレイをオフにしてください。  
(16/19/44ページ)

### 曲の先頭しかプレイされない

トラックスキャンプレイがオンになっている。

トラックスキャンプレイをオフにしてください。(17/45ページ)

### チェンジャー内の同じディスクしかプレイされない

ディスクリピートプレイがオンになっている。

ディスクリピートプレイをオフにしてください。(44ページ)

## MD/CD/External Disc Control Mode

### 曲が順にプレイされない

ランダムプレイがオンになっている。

ランダムプレイをオフにしてください。(16/19/44ページ)

### ディスクが順に演奏されない

マガジンランダムプレイがオンになっている。

マガジンランダムプレイをオフにしてください。(45ページ)

### CDがイジェクトできない

ディスクがイジェクト途中で止まっている。

CD EJECTボタンをCDがイジェクトするまで押し続けてください。

### 文字がスクロールされない

ディスクネームを表示しているため。

スクロール表示されるのはディスク/トラックタイトルとディスク/トラックテキストです。

### ディスクサーチ/マガジンランダムプレイができない

ディスクが1枚しか入っていない。

ディスクを2枚以上挿入してください。

### リピートプレイ、スキャンプレイ、ランダムプレイがオフされない

ディスクを取り出さない限り、各機能は電源をオフにしても自動的にオフされません。

各機能をボタン操作でオフにするか、ディスクをイジェクトしてください。

### トラックサーチできない

ディスクチェンジャー内のディスクをプレイ時に、最初のトラックで前の曲へ、最後のトラックで先の曲へトラックサーチしようとしている。

ディスクリピート中などを除き、最初のトラックから最後のトラックへ、最後のトラックから最初のトラックへはトラックサーチできません。

### ディスクを取り出せない

車両のACCスイッチをオフしてから10分以上経過したため。

ACCスイッチをオフしてから本機内のディスクを取り出せるのは10分以内です。10分以上経過した場合は、再度ACCをオンにしてからイジェクトボタンを押してください。

### タイトル/テキスト表示に切り替えても “ No Title ” / “ No Text ” と表示される

ディスク/トラックタイトル、ディスク/トラックテキストが記録されていない。

ディスク/トラックタイトル、ディスク/トラックテキストが記録されたディスクをプレイしてください。



## CD-R、CD-RWがプレイできない

ファイナライズ処理を行っていない。

CD-R/CD-RWに未対応のCDチェンジャーでプレイしている。

CDレコーダーでファイナライズ処理を行ってください。ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーの説明書をご覧ください。  
CD-R/CD-RW対応のCDチェンジャーでプレイしてください。

## MP3 Mode

### MP3ファイルがプレイできない

ISO9660 level 1/level 2、JolietまたはRomeoに準拠して記録されていない。  
MP3ファイルに拡張子が付いてない。  
ディスクに傷や汚れがある。

ISO9660 level 1/level 2、JolietまたはRomeo (53ページ)に準拠したディスクを使用してください。  
MP3ファイルに拡張子“.MP3”を付けてください。  
「CDのお手入れ」(10ページ)を見て、ディスクをクリーニングしてください。

### MP3ファイルをプレイ中に音飛びする

ディスクに傷や汚れがある。

「CDのお手入れ」(10ページ)を見て、ディスクをクリーニングしてください。

### MP3ディスクをプレイ時に雑音が入る/音が出なくなる

MP3ファイル以外にMP3の拡張子が付いている。

MP3ファイル以外に“.MP3”拡張子は付け不要です。

### フォルダ名/ファイル名が正しく表示されない

ISO9660 level 1/level 2、JolietまたはRomeoに準拠して記録されていない。  
ライティングソフトで扱えない文字を使用して記録した。

ISO9660 level 1/level 2、JolietまたはRomeo (53ページ)に準拠したディスクを使用してください。  
ライティングソフトの取扱説明書を参照して使用できる文字で記録してください。

### 演奏時間表示が実際の演奏時間と一致しない

MP3ファイルの記録された状況により、演奏時間が一致しないことがあります。

### MP3ディスクをプレイするまで時間がかかる

ディスクに記録されているフォルダ/ファイル階層が多い。

最初にディスク内のすべてのファイルをチェックするため、多くのファイルが記録されているディスクを使用すると、プレイされるまで長時間かかる場合があります。

### 文字がスクロールされない

演奏時間を表示しているため。

スクロール表示されるのはファイル/フォルダ名とID3 tag情報です。

## MP3 Mode

### MP3ファイルが順番どおりにプレイされない

プレイさせたい順番どおりにライティングソフトで書き込まれなかったため。

ライティングソフトにより異なりますが、ファイル名の頭に“00”～“99”などを入力してから書き込むことで順番を設定できる場合もあります。

### 選曲操作をしても、目的の曲に切り替わらない

ランダムプレイがオンになっている。

ランダムプレイをオフにしてください。(19ページ)

### 同じ曲を繰り返しプレイするだけで、次の曲に進まない

ファイルリピートプレイがオンになっている。

ファイルリピートプレイをオフにしてください。(19ページ)

### ID3 tag情報が表示されない

「ファンクションセット」の“ID3 Tag”項目が“Off”に設定されている。

「ファンクションセット」の“ID3 Tag”項目を“On”に設定してください。(40ページ)

### ID3 tag情報が正しく表示されない

ID3 tag v1.0/1.1に準拠して記録されていない。  
漢字やひらがなを使用して記録した。

ID3 tag v1.0/1.1に準拠して記録してください。

本機は漢字やひらがなの情報は表示できません。

## Name Set Mode

### DNPSができない

MDをプレイしている。  
マガジンランダムプレイがオンになっている。  
MP3 ファイルをプレイしている。

MDにはDNPSできません。  
マガジンランダムプレイをオフにしてください。(45ページ)  
MP3が収録されたメディアにDNPSはできません。

### SNPS、DNPS表示にしても“ No Name ” と表示される

ステーションネーム、ディスクネームが登録されていない。

ステーションネーム、ディスクネームを登録してください。(24ページ)

### 登録したはずのステーションネームが消えた

31局目のステーションネームを登録した。  
本機をバッテリーから外したため。

登録できるステーションネームは30局分です。  
本機をバッテリーから外すとステーションネームは消去されます。

## 登録したはずのディスクネームが消えた

51枚目のディスクネームを登録した。  
本機をバッテリーから外したため。

登録できるディスクネームは本機のCDプレーヤーとCDチェンジャーを合わせて50枚分です。  
本機をバッテリーから外すとディスクネームは消去されます。

## “ No Disc ” と表示される

マガジンにディスクが入っていない。

ディスクを入れてください。

## ディスクネームがまちがって表示される

総録音時間とトラック数が同じディスクがすでに登録されている。

識別する方法はありません。

## Display/DSP/Equalizer Control

### DSP効果が得られない

2スピーカーシステムになっている。  
フロントスピーカーとリアスピーカー、あるいは右スピーカーと左スピーカーが逆に接続されている。  
スピーカーの極性が逆に接続されている。  
フェーダーまたはバランスの調整が片側に片寄っている。

4スピーカーシステムにしてください。  
取付説明書を参照して正しく接続し直してください。

「オーディオコントロール」(36ページ)を参照して、フェーダーやバランスを中央に調整してください。

### レベル/ニュアンス、DSPパスブーストが調整できない

ホールシミュレーション設定が“ Bypass ”に設定されている。

ホールシミュレーション設定を“ Bypass ”以外に設定してください。(28ページ)

### ルームサイズの調整ができない

ポジションが“ ALL ”に設定されている。

ポジションを“ ALL ”以外に設定してください。(28ページ)

### イコライザーを調整しても効果が現れない

1つの周波数だけを調整している。

調整した周波数の周囲の周波数も調整してください。

### アナライザーの切り替えができない

ALL OFFモードになっている。

SRCボタンを押して、オーディオソースに切り替えてからアナライザーの切り替えをしてください。

## Audio Control

### オーディオコントロールのノンフェダークロスオーバーモードが設定できない

「ファンクションセット」の“Preout”項目が“Rear”に設定されている。

「ファンクションセット」の“Preout”項目を“N-F”に設定してください。(40ページ)

## Function Set Mode

### AT.SCRL項目が表示されない

使用しているディスクチェンジャーに“O-N”スイッチがない。  
使用しているディスクチェンジャーの“O-N”スイッチを“O”にしている。

“O-N”スイッチがあるディスクチェンジャーを使用してください。  
ディスクチェンジャーの“O-N”スイッチを“N”にしてください。

### CODE STBY項目が表示されない

すでにセキュリティコードを設定してある。

セキュリティコードを一度設定すると変更はできません。このため、ファンクションセット項目から削除されます。

### セキュリティコードを忘れた

セキュリティコードを調べることはできません。

ケンウッドサービスセンターにご相談ください。

# Help ? MP3

本機は、MP3ファイルをプレイすることができますが、使用できるMP3ファイルを記録したメディアやフォーマットには制限があります。MP3ファイルを書き込むときには以下のことに注意してください。

## 使用できるメディア

使用できるMP3を収録するメディアはCD-ROM、CD-R、およびCD-RWです。

## 使用できるディスクのフォーマット

本機で使用できるディスクは、以下のフォーマットです。フォーマット名の後ろの文字数は、ファイル名に付けられる最大文字数（区切り文字“.”と拡張子3文字を含む）で、1 byte文字を使用した場合の文字数です。

ISO 9660 Level 1 : 12文字

ISO 9660 Level 2 : 31文字

Joliet : 64文字（ただし、本機で表示されるのは12文字（8.3形式）です）

Romeo : 128文字

なお、ロングファイル名形式で書き込んだ場合は、200文字まで表示が可能です。

使用できる文字はライティングソフトの説明書および下記「ファイル名とフォルダ名の入力」を参照してください。

ただし、本機で再生できるディスクには以下の制限があります。

最大ディレクトリ階層 : 8階層

1階層における最大ファイル/フォルダ数 : 253（ファイル数+フォルダ数）

上記のフォーマット以外で書き込まれたMP3ファイルは、正常にプレイされなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

## 圧縮ソフトとライティングソフトの設定

MP3ファイルに圧縮するときは、圧縮ソフトの転送ビットレートの設定は“128kbps”の“固定”を推奨します。また、最大容量まで記録する場合は、追記禁止の設定をしてください。

何も記録されていないメディアに一度で最大容量まで記録する場合は、“Disc at Once”の設定をしてください。

## ファイル名とフォルダ名の入力

ファイル名とフォルダ名は、半角英数字または半角カタカナで入力してください。これ以外の文字で入力されているファイル名とフォルダ名は正常に表示されません。また、ライティングソフトや使用するディスクのフォーマットによって表示できる文字が制限されます。詳しくはライティングソフトの説明書をご覧ください。

また、MP3ファイルと認識されてプレイされるファイルはMP3の拡張子（.MP3）が付いたものだけです。MP3ファイルには、MP3の拡張子を付けて保存してください。



MP3ファイル以外のファイルに、MP3の拡張子を付けると、MP3ファイルと誤認識して再生をしてしまい、大きな雑音が出てスピーカーなどを破損する恐れがあります。MP3ファイル以外のファイルに、**禁止** MP3の拡張子を付けないようにしてください。

## ID3 Tagについて

本機で表示できるID3 TagはID3 Tag v1.0/1.1規格で記録されたタイトル、アーティスト、およびアルバム名です。また、本機で表示できる文字種は半角英数字および、半角カタカナです。

なお、ID3 tag v1.1/1.0規格には以下の制限があります。

タイトル : 30 byte以下

アーティスト : 30 byte以下

アルバム名 : 30 byte以下

## メディアに書き込むファイルについて

MP3が収録されているメディアを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。

このため、プレイするメディアに多くのフォルダやMP3以外のファイルを書き込むと、プレイするまで長時間必要になります。また、次のMP3ファイルのプレイに移るまで時間がかかったり、ファイル検索やフォルダ検索がスムーズに行えない場合があります。

使用するメディアには、MP3ファイル以外のファイルや必要ないフォルダなどを書き込まないようにしてください。

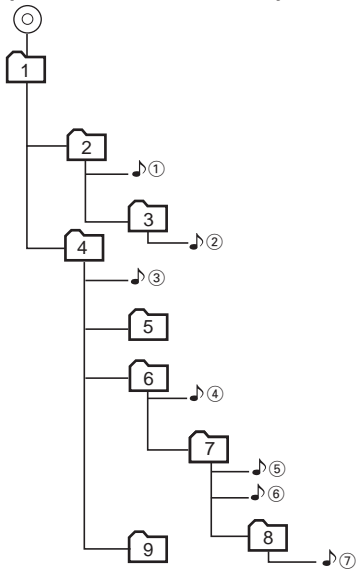
## MP3ファイルをプレイする順番

プレイ、フォルダサーチ、ファイルサーチ、およびフォルダセレクトでファイルやフォルダが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。このため、プレイされると予想していた順番と実際にプレイされる順番が一致しないことがあります。

ライティングソフトにもよりますが、“01”～“99”などとファイル名の頭にプレイする順番を入力してからCD-Rなどに書き込むことで、プレイする順番を設定できることがあります。

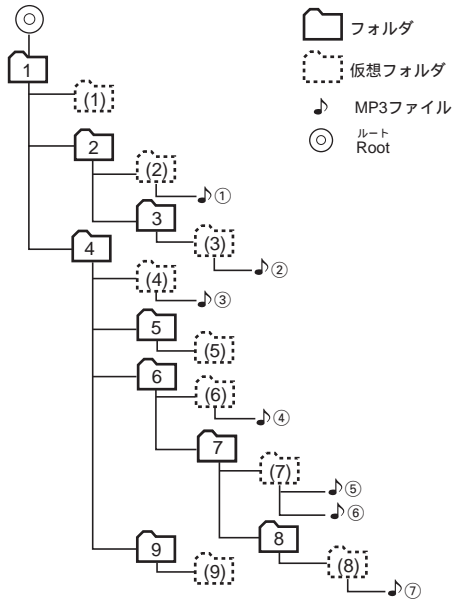
以下のようなフォルダ・ファイル階層のメディアでフォルダサーチ、ファイルサーチ、およびフォルダセレクトを行った場合は次のようになります。

メディアの階層例  
(ファイルサーチ、フォルダサーチ時)





1階層 2階層 3階層 4階層 5階層

フォルダセレクト時のメディアの仮想階層





1階層 2階層 3階層 4階層 5階層

♪④ 再生中にファイルサーチを行うと・・・

ボタン操作 現在の ファイルNo.		
♪ ④	♪ ④の先頭 → ♪ ③ → ♪ ② → ♪ ① → ♪ ⑦…	♪ ⑥ → ♪ ⑥ → ♪ ⑦ → ♪ ①…

♪④ 再生中にフォルダサーチを行うと・・・

♪④ を再生中にフォルダサーチをすると、最初は [6] から始まり、次のようにフォルダを選びます。





ボタン操作 現在の フォルダNo.		
[6]	[5] → [4] → [3] → [2] → [1] → [9]…	[7] → [8] → [9] → [1]…

♪③ 再生中にフォルダセレクトを選択し、フォルダの移動を行うと・・・



フォルダセレクト中は前ページのように、各フォルダの1階層下に仮想フォルダを設けます。各フォルダに記録してあるMP3ファイルはこの仮想フォルダに収録されているような階層表示となります。

♪③ を再生中にフォルダセレクトモードにすると、最初は [3] ( [4] の仮想フォルダ ) から始まり、次のようにフォルダを選びます。

- 仮想フォルダのフォルダネームは、本来のフォルダネームに“( )”を付けて表示します。例えば、“4”というフォルダネームであれば“(4)”と表示します。また、仮想フォルダのフォルダネーム表示は30文字までとなります。

ボタン操作 現在の フォルダNo.				
[4]	[9] → [6] → [5] → [4]…	[5] → [6] → [9]…	[4] → [1]	—

- 仮想フォルダ内では下に階層がないため  の操作はできません。

このため、上記の例のようにフォルダセレクトモードになった直後は [4] の下に階層がないため  の操作はできません。  
フォルダセレクト機能により [1] などへ移動したときに、 の操作で [1] → [1] と1階層下のフォルダを選ぶことができます。

## Amp Cont (アンプコントロール)

EXT.CONT.コードで接続したB.M.S機能が搭載された別売品のパワーアンプの、低音域の増幅量をこの機能でコントロールできます。(B.M.S機能: Bass Management System)

変更される値や変更時のアンプ側の動作はアンプにより異なります。詳しくは接続しているパワーアンプに付属の取扱説明書をご覧ください。

B.M.S機能搭載アンプ (2001年3月31日現在)

: KAC-PS501F, KAC-PS301T, KAC-PS201T

## AMP MUTE (アンプ・ミュート)

フロントスピーカー、リアスピーカーともプリアウト端子にパワーアンプを接続してシステムを組んでいるようなときは、この機能を“On”に設定することにより、内蔵アンプの稼働を停止させることができます。

内蔵アンプの稼働を停止させると、プリアウトからの音声出力のクオリティをアップさせることができます。

## AT.SCRL (オートスクロール)

ディスクタイトルやCDテキストが長い場合ディスプレイ部分では表示しきれないときはスクロールして表示されます。

この機能を“On”に設定しておく、このスクロール表示を繰り返し行い、“Off”に設定しておく则表示が変わったときだけ1回スクロール表示することができます。設定はCDプレイ時とMDプレイ時とで別々に設定できます。

## BEEP

ボタンを押したときに、押されたことが確認できるように“ピッ”音がする機能です。押してすぐ離れたときには“ピッ”と鳴り、1秒以上または2秒以上押し続けて機能をオンにしたときには“ピッピッ”と鳴ります。うるさく感じたときには“Off”に設定することにより消すことができます。

## DSP (Digital Signal Processor)

(ディエスビー: デジタルシグナルプロセッサ)

音楽信号をデジタル処理することにより、反射音や残響音などの音響効果を作り出し、擬似的にコンサートホールなどの音場空間を作る機能です。

## HPF Slope

(ハイパスフィルタースロープ設定)

HPF-F/HPF-Rで設定した帯域の音をカットするときの減衰量を設定する機能です。

1 オクターブあたりの減衰量をdBで設定します。スピーカーに応じたスロープ設定により、特に超低域をカットすることにより、音にならない不要な振動を抑制できます。

## HPF-F/HPF-R

(フロントハイパスフィルター/リアハイパスフィルター)

サブウーファーを追加するとき、この機能を使って高・中音用のスピーカーから低音を削除することができます。設定した周波数より低い音域をカットします。“Off”に設定すると、この機能を無効にすることができます。

## LPF (ローパスフィルター)

ノンフェーダー出力から高音を削除することができます。ノンフェーダー出力をサブウーファー用として使用するとき、この機能で低域のみの音にすることができます。

設定した周波数より高い音域をカットします。これにより効率の良い低域再生が可能となります。“Off”に設定すると、この機能を無効にすることができます。

## LPF Slope

(ローパスフィルタースロープ設定)

LPFで設定した帯域の音をカットするときの減衰量を設定する機能です。

1 オクターブあたりの減衰量をdBで設定します。

## MDLP

MDの記録方式の規格です。

本機ではMDLP2モードとMDLP4モードで録音されたMDをプレイできます。

## MONO (モノラル)

この機能でFMステレオ放送をモノラル音声にすることができます。受信状態の悪いFM放送局を聴いているときに、音声をモノラルにすると雑音が軽減されて聞き易くなる場合があります。

## MP3 (エムピスリー)

正式名「MPEG1 Audio Layer 3」の略称です。MPEG AudioはDVDやVideo CDなどに使用されている画像圧縮方法のオーディオ部分のみの圧縮規格です。

本機にMP3が収録されたメディアを入れることにより聴くことができます。

使用できるMP3収録メディアの種類やフォーマットなどは「Help? MP3」(53ページ)をご覧ください。



---

## MP3 ID3 Tag

(エムピスリーアイディスリータグ)

MP3ファイルの情報データです。曲のタイトルやアーティスト名、収録アルバム名などが記録されています。本機では「ファンクションセット」(40ページ)の「ID3 Tag」項目を「On」に設定すると、タイトル、アーティスト、およびアルバムネームの情報を表示することができます。詳しくは「Help? MP3」(53ページ)をご覧ください。

---

## Preout (プリアウト)

別売品のパワーアンプを接続するための出力です。

リアプリアウトを、オーディオコントロールのフェダー調整に影響されない出力(ノンフェダー出力“N-F”)に切り替えることができます。フェダー調整に影響されないのサブウーファー用の出力に活用できます。

---

## T-DLY F/T-DLY R/T-DLY NF

(フロントタイムディレイコントロール/

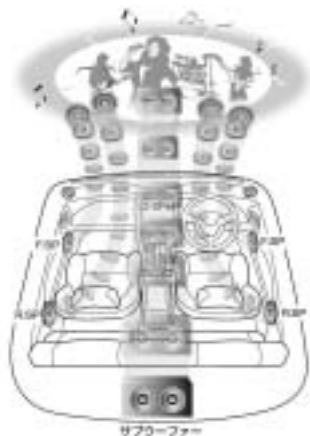
リアタイムディレイコントロール/

ノンフェダータイムディレイコントロール)

フロント、リア、ノンフェダーから出力される音を遅延させることにより、スピーカーの位置を擬似的にずらすことができる機能です。それぞれ細かい設定が可能のため、車種やスピーカー取り付け位置にとらわれずに最適な効果が得られます。

T-DLY Fの設定値 (msec.) を上げていくと、音像が前方奥に引き込み、広がり感が得られます。

T-DLY RやT-DLY NFの設定値 (msec.) を上げていくと、前方定位 (ばらけていた音が前方でまとまり、目の前で鳴っているような感覚) や低音感増強、臨場感の向上などの効果が得られ、リアスピーカー/サブウーファーの音集性が向上します。



---

## Seek

(チューニングモード)

放送局の探しかたを設定することができます。

AUTO 1: 放送局を自動的に見つけ出します。

AUTO 2: メモリーされている放送局を順番に受信します。

Manual: 1ステップずつ周波数が変わります。

---

## オープニング画面表示

電源をオンにしたときの、デモンストレーション表示の有無を設定できます。

---

## セキュリティコード

セキュリティコードを設定しておく、本機の電源コードを外したときやリセットボタンを押したときなどの、次に初めて使うときは、設定したセキュリティコードを入力しないと電源がオンできないようになります。すなわち、本機を車両から外したときは、セキュリティコードの入力が必要になるため、盗難防止の手助けとなります。

---

## ディスクチェンジャー

外部接続された別売品のCDチェンジャー (KDC-C510など) \ MDチェンジャー (KMD-C30, RJ-480など) です。



無効な操作を以下のように表示してお知らせします。

- Error 04 : ディスクが異常に汚れている。  
ディスクが裏返しになっている。  
ディスクに傷が多く付いている。  
ディスクが入っていない。  
トレイが入っていない。  
ナビゲーション用CD-ROMなど本機に対応していないディスクを使用している。  
→ほかのディスクを使用してください。
- Error 12 : 演奏しようとしたMDがデータ用MDです。  
→データ用MDを取り出して、音楽用MDを入れてください。
- EJECT : ディスクマガジンがセットされていない。  
ディスクマガジンが完全に入っていない。  
など
- No Disc : ディスクマガジンにディスクが1枚も入っていない。
- No Name : ステーションネームプリセットされていない放送局を受信中に、放送局名表示にしようとした。  
ディスクネームプリセットされていないディスクを演奏中に、ディスク名表示にしようとした。  
ID3 tagが記録されていないディスクを演奏中に、ID3 tag表示にしようとした。
- No Title : タイトルが記録されていないIMDを演奏中に、ディスクタイトルやトラックタイトル表示にしようとした。
- No Text : CDテキストが記録されていないCDを演奏中に、ディスクタイトルやトラックタイトル表示にしようとした。
- No Track : 演奏しようとしたMDに何も録音されていない。  
→ほかのディスクを使用してください。
- Blank Disc : 演奏しようとしたMDにデータが1つも記録されていない。  
→ほかのディスクを使用してください。
- Please Close : 操作パネルを開いているときに、操作できないボタンを押した。  
→パネルを閉めてから操作してください。

MP3ファイルのプレイ状態を以下のように表示してお知らせします。

READING : ファイルネーム、フォルダネーム、ID3 tag情報の読み込み中です。

システムの異常を以下のように表示してお知らせします。

- Error 77 : 何らかの原因で正常に動作していない。  
➡本機のリセットボタンを押してください。"Error 77"の表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
- H-HOLD : 本機のMDプレーヤーやディスクチェンジャーの内部温度が 60 以上になると保護回路が働き、動作しなくなることがあります。このときこの表示が出ます。  
➡本機またはディスクチェンジャーの取り付け場所の温度を下げてから使用してください。
- Mecha Error : ディスクマガジンに異常がある。  
➡ディスクマガジンを取り出して、ディスクマガジン内を確認してください。  
何らかの原因で正常に動作していない。  
➡イジェクトボタンを押してください。イジェクトボタンを押しても表示が消えないときは本機のリセットボタンを押してください。なお、表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
-  (点滅) : CDプレーヤーが正常に動作していない。  
➡CDを取り出してから、CDを入れなおしてください。
-  (点滅) : MDプレーヤーが正常に動作していない。  
➡MDを取り出してから、MDを入れなおしてください。

# 保証とアフターサービス

## 保証について

### 保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

### 保証期間

お買い上げの日より1年です。

## 修理を依頼されるときは

「Help ? Operation」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にお問い合わせください。（別紙“ケンウッド全国サービス網”をご参照ください。）

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

### 保証期間中は...

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

### 保証期間経過後は...

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。

（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

### 持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。

（本機および一緒に持ち込まれるユニット内のディスクやテープはあらかじめ取り出してください。）

製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

### 修理料金のしくみ（有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。）

技術料：故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。

技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。

部品代：修理に使用した部品代です。

その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

# 仕様一覧

## FMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)	76.0 MHz ~ 90.0 MHz (100 kHz)
実用感度 (S/N:30 dB)	9.3 dBf (0.8 $\mu$ V/75 )
S/N 50 dB感度	15.2 dBf (1.6 $\mu$ V/75 )
周波数特性 ( $\pm$ 3.0 dB)	30 Hz ~ 15 kHz
S/N比	75 dB (MONO)
選択度 ( $\pm$ 400 kHz)	80 dB以上
ステレオセパレーション	40 dB (1 kHz)

## AMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)	522 kHz ~ 1629 kHz (9 kHz)
感度	28 dB $\mu$

## MDプレーヤー部

レーザー	GaAlAs(ダブルヘテロダイオード, $\lambda=780$ nm)
回転数	400 ~ 900 rpm (線速度一定)
ワウ & フラッター	測定限界以下
周波数特性	20 Hz ~ 20 kHz ( $\pm$ 1 dB)
高調波歪率	0.005 % (1 kHz)
S/N比	93 dB (1 kHz)
ダイナミックレンジ	93 dB
ステレオセパレーション	85 dB

## CDプレーヤー部

レーザー	GaAlAs(ダブルヘテロダイオード, $\lambda=780$ nm)
回転数	500 ~ 200 rpm (線速度一定)
ワウ & フラッター	測定限界以下
周波数特性	10 Hz ~ 20 kHz ( $\pm$ 1 dB)
高調波歪率	0.01 % (1 kHz)
S/N比	95 dB (1 kHz)
ダイナミックレンジ	95 dB
ステレオセパレーション	88 dB
MP3デコード	MPEG-1.0 Audio Layer-3準拠

## オーディオ部

最大出力	47 W $\times$ 4
定格出力	29 W $\times$ 4 (4 , 1kHz, 10%THD)
プリアウトレベル(FM)	1.5 V/10 k
プリアウトインピーダンス	600 以下

## DSP/イコライザー部

A/Dコンバーター & D/Aコンバーター	3次 方式20bit128倍オーバーサンプリング
イコライザー中心周波数	60/120/250/500/1k/2k/4k/8k/16k Hz
可変範囲	$\pm$ 12 dB ( $\pm$ 6 STEP )

## 電源部

電源電圧	14.4 V (11 ~ 16 V)
最大消費電流	10 A

## 寸法・質量

埋込寸法 (W $\times$ H $\times$ D)	178 $\times$ 100 $\times$ 155 mm
質量 (重さ)	3.3 kg

## 付属部品

電源ハーネス	1本
トラスネジ (M5 $\times$ 6mm)	6本
サラネジ (M5 $\times$ 7mm)	6本
セムスネジ (M4 $\times$ 8mm)	1本

これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

この製品は、ドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

---

# KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂1-14-6

商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。

カスタマーサポートセンター（東京）電話(03)3477-5335 FAX(03)3477-5334 〒153-0042 東京都目黒区青葉台3-17-9  
（大阪）電話(06)6394-8085 FAX(06)6394-8308 〒532-0034 大阪市淀川区野中北2-1-22

受付時間 9:00～18:00（土、日、祝祭日および当社休日は休ませていただきます）

アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、サービスセンター、各営業所にご相談ください。